

第58回 東北農業経済学会・新潟大会のご案内（第2報）

標記大会についてご案内申し上げます。

第58回大会は新潟県において開催されることになりました。研究者、行政・普及関係者、農業関係団体、農業者の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。（専用フォームより8/19まで）

本大会への参加は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、オンライン開催（ネット環境が使えない方に限り、会場参加について配慮する場合がある）とする予定です。

大会に関する最新情報は、学会ホームページ及び学会メーリングリスト等で、随時、お知らせする予定です。

◆日程 2022年8月26日（金）諸会議、8月27日（土）大会シンポジウム・総会
8月28日（日）個別報告

◆場所 オンライン、新潟食料農業大学 ◆参加費 無料

◆大会シンポジウム（8月27日（土））

テーマ：農業支援人材の育成課題

【会場】新潟食料農業大学（配信会場）、オンライン

◆主催 東北農業経済学会新潟大会実行委員会

（委員長：武本俊彦（新潟食料農業大学） 事務局長：斎藤順（新潟食料農業大学））

◆後援（予定）：新潟県、新潟食料農業大学、長岡大学、新潟大学、JA新潟県中央会、（一社）新潟県農業会議、新潟県土地改良事業団体連合会

◆プログラム

一【2022年8月26日（金）（大会第1日）】

○編集委員会 13:00～14:30（予定） オンライン開催（Zoom）

○学会賞選考委員会 14:00～14:45（予定） オンライン開催（Zoom）

○役員会 15:00～17:00（予定） オンライン開催（Zoom）

※ 各会議担当者から、該当者にオンライン会議（Zoom）の案内をいたします。

一【2022年8月27日（土）（大会第2日）】

○受付 9:00～

○開会・挨拶 9:30～ 9:40

○大会シンポジウム 9:40～15:55

テーマ：農業支援人材の育成課題

座長 青山浩子（新潟食料農業大学）・伊藤亮司（新潟大学農学部）

農業を取り巻く各機関・各組織において農業者をサポートし、農業振興に携わる指導者（ここでは農業支援人材と呼ぶ）には、①県の普及指導員（一部の市に配置される農業技師等専門職を含む）、②農協の営農指導員等の農業団体の指導員、③ムラづくり・地域おこし・6次産業化支援等に携わる（中間支援組織などの）地域サポート人材、④その他いわゆる金融機関・コンサル・NPOなどを含めた民間団体を挙げることができよう。このうち①②は既存の支援組織・支援人材、③④はどちらかという新たなタイプと整理しても良いかもしれない。

新たな時代的要請に対応しうる多様な農業支援人材をどのように育成し、それらを束ね、地域農業の振興に資するネットワークをどのように構築するのか。現場に横たわる課題を明らかにし、①そもそも地域農業現場における支援ニーズ、②既存組織における支援ニーズへの対応状況および今後求められる支援者像、③支援人材の育成手法、技能・技術の継承・組織的蓄積についての課題、④新たな組織における人材の導入・定着の課題および既存組織とは異なる新たな機能や可能性、⑤既存の組織間あるいは新た

な組織を含めた支援機関・支援人材間の連携可能性とそのために必要となる技能・能力の開発課題、⑥互いが互いをどう見ているか、それぞれの個性を活かしつつ地域農業の背中を押すための体制整備についての展望を論じたい。

東北・新潟においては、農村は高齢化・疲弊し、その支援は待ったなしである。また、厳しい状況が早期に先鋭的に表れるのが被災地域であるとも考える。そこでは県の普及指導員や農協、市町村の担当者、農業委員など（個々の担当者が）が踏ん張っていることは確かだろうが、それらが市町村合併や財政難の中で現場から遠ざかり、マンパワーも不足しがちな局面となっている。他方で、農業・農村を取り巻く社会環境の変化や農業生産者の多様化（零細家族農から大規模法人層まで・稲作単作型から複合農業、更には6次産業化まで）の下で、支援すべき対象は拡大し、支援内容・支援ニーズの幅は多岐にわたる。特に、東北・新潟では、水田農業の高度化・園芸振興を新たに図る必要があり、また6次産業化の拡大・安定化も課題である。従来の支援水準の維持でさえ手一杯のところ、新たな地域農業再編・新たな業務構築を視野においた普及指導が求められる状況である。

そのため、既存組織だけでは叶わない地域課題へのアプローチのためには、地域において各機関・各農業者の仲立ちをする中間支援組織が必要になり、災害復興も含めて、その導入・定着が図られてきた。ただし、それら中間支援組織・中間人材は財政面・経営面では安定性を欠き、農業・農村の担い手がいよいよ高齢化し、サポートの拡充が必要になるなかで、事態はむしろ逆に進むジレンマも存在する。地域に寄り添い続けられる支援体制をどのように構築するのか。各農業支援組織のあり方・支援人材のあり方について、現場から学びつつ、現場の皆さんが自信とプライドを改めて再確認できるよう、学会としての応援歌を企図した議論を図りたい。

座長解題 9:40~9:55

報告1 新潟県における普及員のキャリア育成手法の高度化と地域農業課題（仮）
新潟県農林水産部経営普及課長 石田正雄

報告2 未定
未定

報告3 中越地域における災害復興・中間組織人材の育成・定着・継承課題（仮）
イナカレッジ 阿部 巧

報告4 農業者として6次産業事業者として、また6次産業プランナーとしての想い
農カフェきらら 新谷梨恵子

昼食休憩（12:20~13:30） 質問票回収 別室（オンライン・ブレイクアウトルーム）で打ち合わせ

討論者1 上田賢悦（秋田県立大学） 人材育成論の立場から：学術的な論点整理とその現場適用課題

討論者2 小山良太（福島大学） 農協論の立場から：合併進展下の農協の実情を踏まえて

討論者3 百合岡雅博（長岡大学） 地域食品産業論の立場から：農業界との（水と油）をどうするか

総合討論

座長まとめ

閉会挨拶

○総会 16:00~17:00 大会シンポジウムと同一のZoomURL

—【2022年8月28日（日）（大会第3日）】-----

○個別報告（Zoom オンライン） 9:00~12:00

○閉会 12:00

◆大会に関する各種申し込み等について

1. 大会参加申込

参加申込は、専用フォームよりお申し込み下さい（申込先は次頁表を参照）。申し込みの期限は、8月19日（金）までとなります。

なお、新潟食料農業大学会場での大会参加は、新型コロナウイルス感染症対策から、原則ご遠慮いただいております。ご了承ください。

大会参加費は無料です。

2. 個別報告の申込

個別報告を次の要領で募集いたします。ふるってご応募下さい。

本大会において個別報告を行う場合、以下のとおり、申込を行ったうえで、報告要旨を提出してください。

(1) 申込方法

7月19日（火）17時までに、専用フォームよりお申し込み下さい（申込先は次頁表を参照）。

(2) 報告要旨の作成要領

個別報告を申し込まれた方は、下記要領で報告要旨を作成してください。要旨集は原則として提出原稿がそのままPDF化されますのでご注意ください。

- ① A4サイズ1枚、横書き、モノクロ、余白（マージン）は上下左右25mm
- ② フォントは和文MS明朝、英字century。10.5～11ポイント。42字×36行に設定
- ③ タイトル16ポイント、強調（ボールド）、氏名と所属機関 12ポイント

※イメージは次のようになります。ご参考にしてください。

余白 25mm

< A4用紙1枚、横書き、モノクロ >

(1行あき)

水田農業の構造と展開<16p 強調>

東北太郎・宮城萩子*・仙台四郎**<12p>

(〇〇大学・**××大学・**△△試験場) <12p>

(1行あき)

宮城県において、・・・・である。<10.5～11p>

(3) 報告要旨の提出

8月9日（火）までに、MSワード、リッチテキストいずれかのファイルを、下表の申込先にEメールの添付ファイルで送付して下さい。なお、提出の際には、氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）も併せてお知らせ下さい。

(4) 個別報告の報告方法

- ① 報告時間は20分、質疑5分です。報告者は時間厳守をお願いします。
- ② 報告者は、指定されたZOOMミーティングルームに入室し、画面共有の上発表を行ってください。前の報告者の報告が終わった後に共有及び音声の通信状態のテストを行います。通信の安定性確保のため、なるべく有線接続環境をご利用ください。
- ③ 発表するZOOMミーティングルームと時間、および発表手順につきましては、個別報告申込者に別途Eメールでご案内いたします。
- ④ 報告資料は、ご自身で当日会議チャットへ貼り付けてください。

表 大会参加および個別報告の申し込み・お問い合わせ先

	締め切り	申込、問合せ先
大会参加申込 (個別報告申込を除く)	8月19日（金）	新潟食料農業大学 食料産業学部 齋藤 順 申込： https://forms.gle/EnwbfA1cErzowjBj6 問い合わせ：jun-saito@nafu.ac.jp
個別報告申込	7月19日（火）	新潟食料農業大学 食料産業学部 齋藤 順
個別報告要旨提出	8月9日（火）	申込： https://forms.gle/oo987Y3MfnRjM42v6 提出・問い合わせ：jun-saito@nafu.ac.jp
大会に関する問合せ	—	新潟食料農業大学 食料産業学部 齋藤 順 jun-saito@nafu.ac.jp